

基本目標 2 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現

【施策 9】 地域全体で子どもたちを教え育てる取組みを支援します

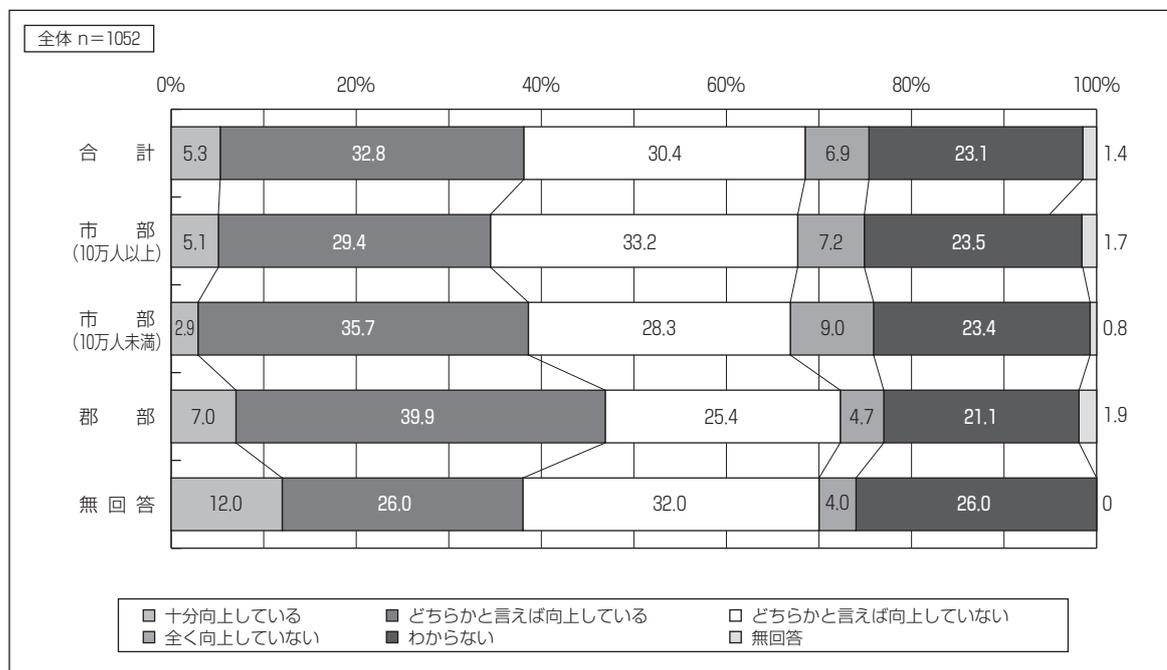
(施策の現状)

子どもが心身ともに健やかに成長していくためには、家庭や学校だけでなく、地域で学び地域で育つ環境を整えることも重要です。また、学校、家庭、企業や関係機関なども含めて、地域社会を構成する者が自らの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携協力に努めることが必要です。

都市化や情報化等の進展により、特に市部においては、近隣との付き合いが希薄化するとともに、かつてあった地域の機能や地域全体が子どもたちを教え育てる力の低下が指摘されています。一方で、地域の人々が積極的に学校の活動に協力しようとする動きも出てきています。

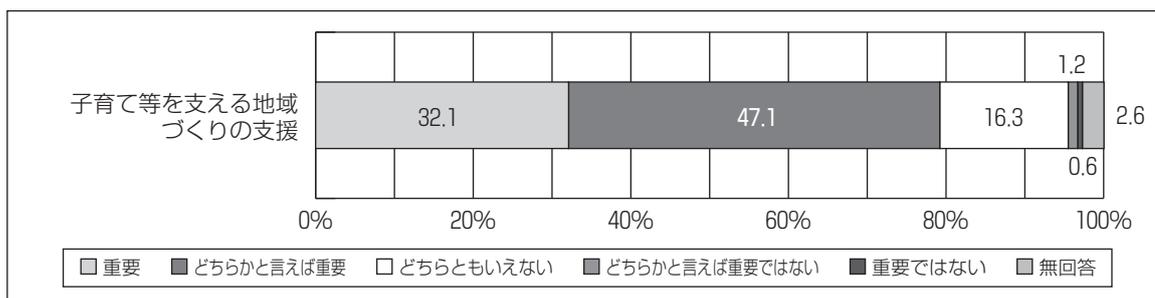
県民アンケートでは、家庭や地域の教育力向上について、郡部では「どちらかと言えば」も含めて向上していると感じている県民の割合が 46.9%で、「どちらかと言えば」も含めて向上していないと感じている県民の割合 30.1%を上回っています。一方、市部（10 万人以上）では、「どちらかと言えば」も含めて向上していると感じている県民の割合が 34.5%で、「どちらかと言えば」も含めて向上していないと感じている県民の割合 40.4%を下回っています。

〔家庭や地域の教育力が向上していると感じる割合（居住地域・規模別）〕



また、「子育てや学校の教育活動を支える地域づくりの支援」について「重要」と答えた県民の割合は 79.2%で、地域全体が子どもたちを教え育てる取組みへの支援について、県民が特に重視しているという結果が出ています。

〔各施策の今後の重要性について〕



(基本的方向性)

- ・ 市部においても郡部においても地域全体で学校を支え、子どもたちを健やかにはぐくむことを目指し、地域住民のボランティア活動等による積極的な学校支援の取組みを促進します。
- ・ 放課後等に、子どもたちの安全・安心な活動拠点の設置を支援します。
- ・ 社会教育関係団体等の活性化のため、地域で活躍できるリーダーやコーディネーターの育成を支援します。
- ・ さまざまな機会を捉えて、県民の読書活動を推進します。

【今後の取組み】

- 地域ぐるみによる学校支援の促進（関連施策：施策15）
教員や地域の大人が子どもと向き合う時間を確保するとともに、地域の人々が自らの知識や経験を生かす場が広がるよう、地域の人々によるボランティア活動等の協力のもと、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを促進します。
- 放課後等における子どもたちの居場所づくりの支援
放課後等の子どもたちを地域住民の協力のもとで見守り、学習活動、文化・スポーツ活動、さまざまな体験・交流活動などを行う、安全で健やかな居場所づくりを支援します。
- 地域の社会教育を担うリーダーやコーディネーターの育成支援
地域の中で積極的・主体的に社会教育に関わるリーダーと、地域でのネットワークづくりのためのコーディネーターの育成を支援します。
また、専門的な知識や技能習得のための研修等の実施により、市町村の社会教育主事⁶⁴、公民館主事⁶⁵等の資質の向上に努めます。

⁶⁴ **社会教育主事**……社会教育主事の講習を修了し、その資格を得た者。社会教育を行う者に専門的技術的な助言などを行う。

⁶⁵ **公民館主事**……社会教育法第27条に規定された「公民館に館長を置き、主事その他必要な職員を置くことができる」とされている主事。公民館事業の企画・立案・実施、住民グループなどの団体活動支援などを行う。

□ 読書活動の推進（関連施策：施策1）

図書館の蔵書等の相互貸借などを進めることにより、図書館の魅力を高め、地域全体での公共図書館²¹の利用を促進します。また、読書の大切さを大人も子どもも実感できるように、子どもに対する読み聞かせ活動など、さまざまな取組みを支援します。

[施策9 指標]

指標名	現況値	目標値	備考
人口1人当たりの年間貸出冊数（公共図書館 ²¹ 、公民館図書室）	H20年度 3.79冊	H26年度 4.3冊以上	
各学校及び公民館・図書館において活動したボランティアの延べ人数（公立小・中・高・特別支援学校 ¹⁵ ）	H20年度 124,899人	H26年度 増加をめざす	モニタリング指標 【関連施策】 施策15
市町村における「子ども読書活動推進計画 ²⁰ 」の策定状況（%）【再掲】	H20年度 18.6% (11市町村)	H26年度 60.0%以上	【関連施策】 施策1

¹⁵ 特別支援学校……15ページ参照。

²⁰ 子ども読書活動推進計画……21ページ参照。

²¹ 公共図書館……21ページ参照。